



小牧市民病院 脳神経外科

概要説明

医師数 10人(2021年4月現在)



- 医師A : 副院長でありながら脳神経外科の大黒柱
- 医師B : 脳神経外科第一部長 顕微鏡・内視鏡手術と放射線治療を手広く指導
- 医師C : 脳神経外科部長 フットワークの軽い頼れる兄貴
- 医師D : 血管内治療部長 カテーテル専門医 (カテーテルの魔術師)
- 医師E : 5年目後期研修医 チーフレジデントとして若手を束ねる
- 医師F : 4年目後期研修医 少し仕事にも慣れてきた (医師Gとライバル)
- 医師G : 4年目後期研修医 少し仕事にも慣れてきた (医師Fとライバル)
- 医師H : 3年目後期研修医 追いつけ・追い越せで勉強中
- 医師I : 非常勤代務医師 リハビリ病院より来院し、週1で回診
- 医師J : 非常勤代務医師 てんかん専門医で月1外来およびカンファレンス

充実したスタッフ構成！！

小牧市民病院 脳神経外科の特徴



- 1991年から日本で最初にガンマナイフ治療（定位放射線治療）を始めたために、民間の脳神経外科の中では全国的に有名
- 脳血管障害、脳腫瘍、機能的疾患と多岐にわたる症例が多く集まる
- 他病院では診ることがない、まれな症例も経験できる
- 臨床研修指定病院
- 名古屋大学の専攻医プログラムに参加可能
- スタッフが充実しており、どんな高難度の疾患でも他病院に紹介することなく小牧市民病院で治療可能
- 手術から術後の定位照射まで全て行う事ができる

小牧脳外科 後期研修医の特徴



- 後期研修医3年目から開頭術、カテーテル治療ともに術者として経験可能
- 顕微鏡手術、内視鏡手術、脊椎手術も経験可能
- 目標は後期研修医3年目に術者として脳動脈瘤クリッピングを行うこと！

- 待機は当番制であり、時間外のプライベートも充実
- 長期休暇も交代制で取得できるので遠出もできる！
- 行き詰まったとき、困ったときは上司がすぐにサポートしてくれる
- 「小牧出身の脳神経外科後期研修医は出来がいいねえ」と言われる
- 後期研修医5年目が終わると名古屋大学病院に異動することが多い

手術室での後期研修医



- 開頭・閉頭は後期研修医に任されることもある



- 顕微鏡はこだわりの3面鏡で、上司の手術に2人同時参加が可能

手術室外での後期研修医



- カテーテル治療は今後の脳外科医にとって必須手技で、やりながら学習していく



- ガンマナイフ室にいる上司を捕まえて手術手技・座学など色々教えていただく

一刻を争う外傷は特に後期研修医活躍の場



ハイブリッド手術室で他科と同時緊急手術！

急性硬膜下血腫（開頭手術）

+ 外傷性脾損傷（カテーテルによる動脈塞栓）

ハイブリッド手術室



脳外科side



外科・放射線科side



ある3年目後期研修医の一日



7:00 起床



もう少し寝ようかなあ

8:00 担当患者さんの回診



大分くなりましたね

8:30 ガンマナイフ枠付



枠付は任せてください

9:00 カテーテル検査



俺一人で出来そう!!

10:00 病棟総回診



TVで見たのとは違うなあ...

12:00 昼休憩

13:00 開頭手術



やっぱり上司はすごいや

18:00 病棟に寄ってから帰宅

自由時間(^o^)
今日は何食べよう?
だけど勉強もしない
となあ...

小牧市民病院 脳神経外科へようこそ



全く緊張しなくて良いです。何でも気軽に聞いてください。